

◆ 博物館だより

◇2021年度イケフェスに参加（関大村野建築の動画を掲載）

10月30日から31日にかけて「生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪」に関西大学千里山キャンパスも参加しました。その一環で、関西大学博物館が入っている「簡文館」の建物を紹介する動画を公開し、Facebookにてパート1、2あわせて176名に見ていただきました。

Facebookでは、昨年の5月から月1回ほどのペースで、「博物館の展示物について」や「学芸員の業務」、「文化財について」といった内容を埴輪たちが紹介する漫画をアップロードし公開しております。

◇「博物館実習展」及び関西大学博物館収蔵品展「漆芸の美」の開催



昨年に続くコロナ禍の中、11月8日から13日まで開催しました。展示室内の密を回避するため、実習生による解説は取りやめ、代わりにQRコードを読み取ることによって実習生が作成した解説動画にアクセスできるようにしました。今年度は42名の実習生が「きつね～人と狐の不思議な歴史～」、「天保山 浪花の新名所」、「戦時下の日常～戦争遺品が語る人々の暮らし～」、「音楽ナウー思い出再生中ー」、「発見！こんなところに和楽器～埴輪から漫画まで～」の5班に分かれ、博物館学課程の集大成として展示を構成しました。また、2021年度特別展示と



して、関西大学博物館収蔵品展「漆芸の美」を同時開催し、会期中には409名の方にご覧いただきました。

◇2021年度冬季企画展「池田家藩主三代の手蹟」

標記企画展を、2021年12月10日から2022年1月19日にかけて開催しました。本展は、関西大学と岡山県岡山市にある林原美術館との連携協定に基づく取り組みの一環として開催され、同美術館が所蔵する岡山藩主池田家旧藏品の中から、選りすぐりの15点を展示・公開しました。コロナ禍の中、444人の方にご来場いただきました。



◇昨年度から調査を行っていましたSPレコード「松本コレクション」について、11月20日になにわ大阪研究センターセミナー室で研究成果報告会を行い、23名の参加を得ました。この中で、本学的女子学生第1号である北村兼子氏の講演記録やベルリンオリンピックの実況録音なども披露しました。

．．． 編集後記 ．．．

表紙の「ビクターIV型TypeM」は、教育後援会有志の方から寄贈された蓄音機です。博物館では、コロナ感染状況を見ながら11～12月に蓄音機によるSPレコード演奏会を昼休みに5回開催し、延べ95人の参加者を得ました。

博物館の前身である考古学等資料室の運営に初期から携わり、故網干善教先生とともに全国大学博物館学講座協議会及び同西日本部会の立ち上げや当館の開設に尽力した角田芳昭氏が2021年12月22日に享年85歳で永眠されました。心からご冥福をお祈りいたします。

